

当院でインプラント治療を受けられた患者さんおよびご家族の方へ

研究課題名： 下顎大臼歯遊離端欠損に埋入されたインプラントの対合歯予後に関する調査

研究組織： 九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野

研究代表者： 九州歯科大学助教 向坊 太郎

当該研究の意義、目的：

下顎大臼歯を失った場合、インプラントにより噛み合わせを回復することがあります。インプラントには歯根膜が無いため、上部構造装着後に反対側の歯（対合歯）に過大な咬合力がかかる場合があります。一方下顎第二大臼歯まで失った場合、その場所にインプラントを入れるべきか議論が分かれています。これまでこのことを考慮に入れ対合歯の予後を統計解析した例はほとんどありません。本研究ではこれまでに埋入されたインプラントの対合歯の生存状況について診療録を遡り調査することを目的とします。

当該研究の方法：

当院において2013年4月から2023年9月にインプラント治療を行った方を対象とします。診療録データからインプラント対合歯のトラブルについてデータ収集し、統計学解析を行います。得られた結果は学会や専門学術誌において発表します。その際、個人情報を完全に保護した形とし、個人が特定されることは決してありません。

診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので下記の連絡先までお申出ください。この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたらお気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ窓口：

研究責任者 細川 隆司

九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野

〒803-0844 福岡県北九州市小倉北区真鶴 2-6-1

Tel 093-285-3100